エコアクション２１

２０２４年度　環境経営レポート

2024年4月～2025年3月

2025年8月15日　作成

集塵装置株式会社
DUST COLLECTOR CO.,LTD.

エコアクション21
認証番号0009688

目次

表紙　1

目次　2

エコアクション21　組織体制図　3

１．環境経営方針　4

２．事業活動の概要　5

３．環境経営目標及び環境経営計画・活動の内容　6～8

４．環境負担の実績及び環境活動取組評価　9

５．次年度への取組み内容　10

６．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無　10

７．代表者による全体評価と見直しの結果　10

エコアクション21　組織体制図

代表取締役社長　権限及び役割

・環境経営方針の制定
・環境経営活動の推進
・環境経営活動の評価見直し及び改善
・環境経営活動レポートの承認と報告
・環境経営活動に必要な人・設備・資金・情報を用意
・経営活動における課題とチャンスを明確にする
・実施体制の構築及び周知

環境管理責任者　　権限及び役割

・環境経営活動の策定及び実行
・関連法規等の順守
・取組状況の評価
・取組の推進・見直し
・環境経営活動レポートの作成
・全従業員の教育・訓練
・緊急事態への準備及び対応

事務局

本社　　事務所

◇技術営業部（機械及び装置の技術提案、販売活動）

◇設計技術部・業務管理部（装置設計、試運転調整、装置・部品等の購買管理）

◇総務部（経理、財務、人事、広報、庶務）

主なea21活動内容

・節電管理
・外部情報受付
・５Ｓの実行（事務所内）
・省エネ運転管理（社有車）
・車輌点検管理
・省エネ、省資源商品の提案・開発
・紙の使用量抑制管理
・フィルター再生利用の提案、促進
・グリーン購入

本社　　工場

◇業務管理部（機械装置の製造、現場監督）

◇メンテナンス部（機械装置の保守点検、部品交換、提案営業、部品・部材の購入）

主なea21活動内容

・節電、節水管理
・外部情報受付
・５Ｓの実行（工場内）
・廃棄物発生抑制管理
・省エネ運転管理（社有車）
・車輌点検管理
・フィルター再生利用の提案、促進
・化学物質使用量削減（少量危険物管理）
・グリーン購入

2013年8月15日　　制定
2023年4月1日　　改訂

1.環境経営方針

基本理念

集塵装置株式会社は、”製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に揚げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進し、継続的改善に努めます。

1 省エネ・省資源型装置販売の開発・改良・提案・販売に努めます

2 環境関連法規を遵守します

3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます

4 廃棄物の排出抑制に努めます

5 グリーン購入の推進に努めます

6 ＳＤＧｓに取り組むことで、2030年に向け持続可能な社会の実現に努めます

7 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

2013年1月1日 作成
2020年10月1日 改訂
集塵装置株式会社
代表取締役社長　丸山宏樹

2.事業活動の概要

（1）事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

（2）所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

（3）環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　代表取締役　丸山　宏樹

エコアクション２１担当者　総　務　部　杉中　優美　渋谷　佳代

連絡先　電話 03-3938-3711　ＦＡＸ 03-3938-3716

（4）事業内容

公害防止装置、空気輸送装置の設計・製造・販売・保守

建設業許可番号　東京都知事許可（特-2）　第29193号

東京都知事許可（般-2）　第29193号

古物商許可番号　東京都公安員会許可　第305591208074号

（5）事業の規模

2024年度売上高 7億円

従業員数 27名

資本金 7,000万円

3.環境経営目標及び環境経営計画活動の内容

(1)中期環境経営実績・経営計画目標（2022年度～2024年度）

※中期計画の二酸化炭素排出係数は、2023年度を基準としています

項目		単位	基準値	2022年度実績		2023年度実績		2024年度目標		2024年度実績	
			三年平均値	2022/4～2023/3		2023/4～2024/3		2024/4～2025/3		2024/4～2025/3	
二酸化炭素排出量		kg-CO2	57,900	基準値比	1.58%	基準値比	-18.61%	基準値比	-5.01%	基準値比	-26.94%
				58,814		47,123		55,000		42,300	
内訳	電気使用量	kWh	58,795	基準値比	-4.10%	基準値比	-9.77%	基準値比	-4.75%	基準値比	-10.65%
				56,387		53,050		56,000		52,532	
	ガソリン使用量	ℓ	6,105.7	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※
				5,109.4		6,176.9		—		5,125.2	
	軽油使用量	ℓ	5,275.6	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※
				5,594.7		4,942.4		—		3,914.2	
燃費（ガソリン）		ℓ	13.9	基準値比	0.00%	基準値比	-0.72%	基準値比	-6.47%	基準値比	※
				13.9		13.8		13.0		13.5	
燃費（軽油）		ℓ	11.7	基準値比	0.00%	基準値比	-0.85%	基準値比	-5.98%	基準値比	※
				11.7		11.6		11.0		12.2	
総排水使用量		㎥	395	基準値比	-10.13%	基準値比	5.57%	基準値比	-2.53%	基準値比	3.54%
				355		417		385		409	
化学物質使用量		kg	70.8	基準値比	6.92%	基準値比	-17.37%	基準値比	-3.95%	基準値比	32.77%
				75.7		58.5		68.0		94.0	
産業廃棄物排出量（リサイクル含）		t	23.9	基準値比	7.11%	基準値比	50.21%	基準値比	-3.77%	基準値比	-34.31%
				25.6		35.9		23.0		15.7	
一般廃棄物排出量		t	1.35	基準値比	2.22%	基準値比	6.67%	基準値比	-7.41%	基準値比	14.81%
				1.38		1.44		1.25		1.55	
フィルター再生利用の受注件数		件	15	基準値比	-6.67%	基準値比	-6.67%	基準値比	6.67%	基準値比	-20.00%
				14		14		16		12	

◆基準値は2021～2023年三年間の平均値を使用　◆二酸化炭素排出係数（電気）： 0.303kg－CO2/kWh(2023年度・グローバルエンジ)

（2）環境経営計画の内容

1.二酸化炭素排出量（電気）の削減

■パソコン画面の消し忘れを徹底する

■健康に影響しない程度の温度設定にする

■社内電灯箇所の総LED化を検討する

2.二酸化炭素排出量（ガソリン）の削減

■アイドリングストップを徹底する（車内掲示、教育）

■不要な車載荷物を降ろすことを指導

■燃費目標とし、目標値より少なければ良しと判断する

3.二酸化炭素排出量（軽油）の削減

■アイドリングストップを徹底する（車内掲示、教育）

■不要な車載荷物を降ろすことを指導

■燃費目標とし、目標値より少なければ良しと判断する

4.総排水量の削減

■水の出しっ放し、使い方を指導

5.化学物質使用量の削減

■使用前の在庫確認、在庫の見直しによる購入量の抑制

6.産業廃棄物排出量の削減

■リサイクル排出量（端材等）の再々利用する

■収集場の廃棄物（一般・産廃）区分 をはっきりとする

7.一般廃棄物排出量の削減

■アスクル梱包材の業者引き取りを継続する

■コンビニごみ等を圧縮し、廃棄をおこなう

8.省エネ・省資源型装置の開発・改良提案・販売

■集塵フィルターの再生利用の促進活動

～活動内容～

会社内にAEDを設置

地域清掃活動

地域貢献活動の一環として、毎月1回

会社玄関前　造園（緑化）

二重窓に交換

窓を二重窓(内窓)に替えることで断熱効果が得られ
室内の暖まった空気を留めてくれます
暖かい空気が逃げなくなるので
少ないエネルギーで

4.環境負荷の実績及び環境経営活動取組評価

項　　目		単位	基準年度	期間目標	期間実績	評　　価
			2021.4～2023.3	2024.4～2025.3		
二酸化炭素排出量		kg－CO2	57,900	55,000	42,300	目標達成しているが、今後も二酸化炭素排出削減に努めていく。
内訳	電気使用量	kWh	58,795	56,000	52,532	前年同様、電気量削減効果として、LED導入は成功だった。
	ガソリン使用量	ℓ	6,105.7	—	5,125.2	燃費実績を安定的な数値にできるよう伝えたい。
	軽油使用量	ℓ	5,275.6	—	3,914.2	燃費実績を安定的な数値にできるよう伝えたい。
総排水使用量		㎥	395	385	409	無駄使いしないよう、今後も意識させたい。
化学物質使用量		kg	70.8	68.0	94.0	今後も業務プロセスを意識した行動を指導する。
産業廃棄物排出量（リサイクル含）		t	23.9	23.0	15.7	引き続き。効率性ある作業を求めていく。
一般廃棄物排出量		t	1.35	1.25	1.55	コンビニごみの削減は難しいと思う。
フィルター再生利用の受注件数		件	15	16	12	ホームページ等にて更にフィルター再生利用を広報していく。

5.　次年度への取組み内容

（第3項（2）環境経営活動の内容1.～8.）の取組みを継続する。

6.　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（1）環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。
（主な環境法規等：　廃掃法・消防法・東京都環境確保条例）

（2）関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。

（3）訴訟も、過去3年間ありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

2013年4月から開始した環境経営活動も、12年目を迎えました。

今年度は溶接設備更新を行った結果、前年同様の電気量の削減となりました。

また、二酸化炭素排出量は基準年値から約27％減少しました。

今後も出来うる施策を打ち、目標に向けて前進して参りたいと存じます。

2020年10月からスタートしたSDGsの取り組みも、更に深めていきます。

今後も上記課題を含め改善を進め、エコ活動に努める所存です。

代表取締役　丸山宏樹